

報道機関 各位

平成17年5月9日
国立大学法人 広島大学
情報化推進部広報課長

広島大学病院高度救命救急センター設置 記念式典等の開催について

広島大学病院(所在地:広島市南区霞1-2-3、病院長:浅原利正)は、
本年4月の高度救命救急センター設置を記念し、下記のとおり、式典等
を開催しますので、お知らせいたします。

記

日時: 平成17年5月21日(土)15時30分～

場所: 広島大学病院カンファレンスルーム2(入院棟2階)

○ 記念式典 15:30～16:00

○ 特別講演会 16:00～17:00

講師: 厚生労働省医政局指導課長 谷口 隆 氏

演題: 今後の医療提供体制についてー救急医療を含めてー

○ 施設見学 17:00～17:30

※会場等の都合により関係者による式典としています。

【広島大学病院高度救命救急センターの概要】

高度救命救急センターは、複数の診療科にまたがる重症救急に対して
24時間体制で対応する救命救急センターの機能に加えて、広範囲熱
傷、急性中毒そして指 肢切断に対して高度医療を提供することが求めら
れています。これまでわが国では全国に17箇所設置され、広島大学病
院には本年4月1日に設置されました。

広島大学病院は、昭和54年に救急部が設置されて以来、広島県にお
ける三次救 急医療施設として重症救急疾患の治療に貢献して来ました。
特に、広範囲熱傷、急性中毒、指肢切断に対する医療においては、過去
約20有余年にわたり広島地 区における中核的存在として活躍してきま
した。また、平成16年には西日本唯 一の三次被ばく医療施設に指定さ
れました。こうした実績が評価され、この度、高度救命救急センター設置
の運びとなりました。

本センターには、ICU及び熱傷病床を含む20床の重症病床に加えて、
蘇生室、高度処置室、血管造影室、CT室、検査室など患者救命に必要な
設備や医療資機材 が整備されています。加えて、屋上にはヘリポート

を備え、広島県のみならず中 四国地域からヘリコプターを使用した航空搬送による患者受け入れも行います。

専任スタッフは、医師13名、看護師36名が24時間体制で対応しています。加えて、各診療科、診療放射線部、薬剤部、MEセンター、臨床検査部等から全面的な診療支援を受けており、大学病院が一丸となって、高度でかつ安全な救急医療の提供を目指しています。

広島大学に高度救命救急センターが設置されたことにより、これまで広島大学病院が行ってきた救命救急医療を基盤として、新たに全診療科・診療部門のバックアップ体制の下に、一層発展・充実させることで、地域社会へより大きな貢献が行えるようになります。また、救急医療における豊富な臨床環境は、次世代を担う学生、若手医師そしてコメディカルを育てるために不可欠です。今後、本センターが救急医療を担う優れた医療人の育成の場となるように一層の環境整備を進めます。

【お問い合わせ先】

広島大学病院総務グループ 近藤
TEL 082-257-5014

[発信枚数;A4版 1枚(本票含む)]